

# 自己発見

## ～私たちへのアドバイス～

D班：鷺谷・高山・沼田・箭内

### <はじめに>

私たちは会社を起業した方に興味があり、「なぜ、その会社を立ち上げようと思ったのか」を伺いたいと思いました。そこで、私たちと同じ日本大学経済学部の卒業生の方々を探した所、会社を起業なされた株式会社フレーバーライフ社の興津秀憲社長にインタビューをお願いしました。又、興津さんの「20歳の頃」のお話を伺い、私たちがこれからどのような大学生活を送れば良いのか、また将来のキャリアに向けてどのような準備をすれば良いかを考えました。

### <プロフィール>

#### 興津秀憲さん

- ・昭和32年生まれ
- ・日本大学経済学部経済学科 卒業
- ・株式会社フレーバーライフ社 創業 現代表者
- ・東京都議会議員

### <これまでの活躍>

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| ・国分寺ローターアクトクラブに参加   | 会長・分区幹事歴任    |
| ・国分寺青年会議所に参加        | 委員長・第25代理事長  |
| ・国分寺交響吹奏楽団団員        | トロンボーン奏者兼指揮者 |
| ・国分寺フィルハーモニー官弦楽団    | 創立時団員        |
| ・財団法人少林寺拳法連盟東京国分寺支部 | 顧問           |
| ・日本大学校友会            | 幹事           |

### <インタビュー内容>

#### 1.興津さんの20歳の頃

実家が商売をしていた影響もあり、高校時代から経済に興味があったそうです。又、世界中の動きをみることができ、自らの視野を広げることが可能な経済学が大好きだったようです。大学の必要単位は3年間で取得。夜遅くまでゼミ

ミ室で仲間たちと勉強会をし、追い出されることも少なくなかったようです。アルバイトはガソリンスタンドの店員や、全日空で荷物の運搬作業などを経験。趣味は、高校時代から続けているブラスバンドと、仲間たちと車を改造し、日本各地を巡る旅をすること。夢中になっていたことは勉強とスキーだったそうです。

興津さんは学生時代、一つのことに絞られず、ある程度好き勝手自由に色々なことに挑戦していました。しかし、一度決めた目標には全力で取り組み、すぐ行動に移していたようです。又、時間は自分で作るものと考えており、メリハリのある学生生活を送られていたとのことでした。

## 2.二十歳のころ経験して良かったこと

興津さんが二十歳の頃経験して良かったことは、ローターアクトクラブという地元でのクラブ活動だったそうです。ここで東京都全域に友人を作り、活動内容である人々と親睦を深めることや社会奉仕活動のお手伝いが、町を愛することに繋がり、さらに現在の東京都議員の仕事の糧となっておっしゃっていました。また、二十歳の頃、最も後悔したことは高校時代から交際していた彼女と別れたとのことでした。他にも細かい後悔はたくさんあるが、一つ言えることは、**大学時代のうちに一生付き合える友達を大切にすること**とおっしゃっていました。大学生活は、閉鎖された会社と異なり様々な人と関わることができ、人と触れ合い、感じることで広い視野を持てるということだったとのことでした。

## 3.起業した経緯

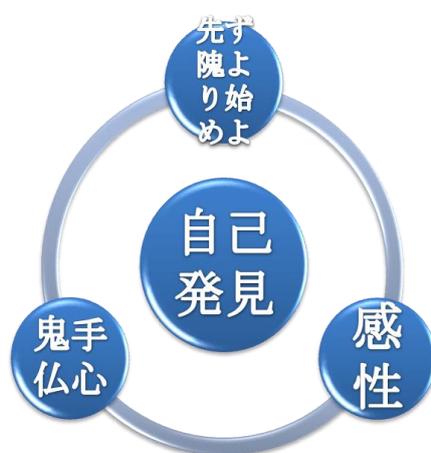
興津さんがフレーバーライフ社を設立したきっかけはヨーロッパを旅行した時に嗅いだラベンダーオイルの香りだったそうです。その後、日本で同じものを購入しようとした際、英国との価格差に驚き、もっと安価な値段で手軽にオイルを買うことはできないかと考え、精油および精油関連商品を販売する会社の起業を決意したそうです。現在、広まっているエッセンシャルオイルのインターネット通信販売を始めたのは、フレーバーライフ社が**全国で初めてであり、販売量も日本一**です。

## 4.学生の私たちに「今」できるアドバイス

興津さんは「自分が生まれてきたことには必ず使命があるはずである。五体満足で生まれてきたことを幸せに感じ、自分を見つめることに一生懸命になること。自分の存在価値、存在理由を考えることで自ずと未来が見えてくるだろう。」とおっしゃっていました。次の3つを行えば、自己発見(自分の存在価値、

存在理由)ができるとおっしゃっていました。

- ① 「**先ず隗より始めよ**」・・・今の人は人のせいにする癖がある。今の政治が悪いから、他人が言ったから・・・などであるが、まず、自分の信念に従い感じたままに動くことが大切である。
- ② 「**感性**」・・・今の日本人に一番足りないものである。興津さんの人生の中で一番大切にしている人生観である。とにかく感じる。喜怒哀楽を感情に表すことが大切である。
- ③ 「**鬼手仏心**」・・・自分が相手のためを考え、今、怒ったほうが良いのか、褒めたほうがよいのか、時には心を鬼にすることも重要である。



#### <最後に>

興津さんは二十歳の頃、上手く時間を使い、趣味や勉強など目の前のことを一つ一つ本気で取り組み、自己発見が出来ていました。その過程が現在の一分・一秒争う生活に役立てていることがわかりました。そして、体験したことから確実に何かを得て、社会で生かし、自分の意思・意見をもち、困難な会社の起業につながっています。つまり、**二十歳の頃があったからこそ今の興津さんがあるのだ**と思います。

今回の二十歳の頃を経験して、いかに起業するのが大変なのか、またこれからどのように学校生活を送れば良いか学ぶことができました。そしてこの二十歳の頃の研究を通して様々な困難もありましたが、仲間との協調性や団結力などの大切さを知ることができました。興津さんの話を聞いて、**これからは感性を豊かにして、悔いのない学生生活を送りたい**です。二十歳の頃をやって反省する点もありましたが、成長するきっかけにもなりました。

お忙しいなか、私たちのインタビューを快く承諾して下さった興津さんやインタビューの場所を提供して下さいました東京都議会の皆さんに心より感謝し、改めて御礼申し上げます。